

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 信文



■ 田植えの季節になりました

我が家は、表は公道に面していますが、裏は広い農地が広がっています。田植えの時期も近づき、田んぼ作りに耕運機が活躍していますが、例年だと耕運機の後ろにシラサギが何羽も群がり、掘り起こされた土からミミズなどを食べていました。ところが、今年は何羽か集まっても耕運機の後ろについてくるでもなく、例年の光景とは違い離れたところで遊んでいるようにも見えます。先日、自宅近くの有帆川でウナギ釣りをしている人が「最近、餌にするミミズがいなくなった」とぼやいていました。生態系にも小さな異変が起きているような気がします。

「これまで経験したことのない大雨が降る恐れがあります」こんな天気予報も珍しくなりました。御嶽山の噴火や箱根山の火山性地震の増加など、全国的に火山活動が活発化していますし、四国沖の南海トラフ大地震による大津波の発生など、いつ起きてもおかしくないほどの緊張感が求められる時代になってきました。

海岸線を守る高い護岸や、内陸部の河川対策もかなり進み、5、6年前と比較すると、小野田や厚狭は随分と水に強いまちに変わってきましたが、気を許すことなく、毎年、予算の一定割合は、必ず災害対策に充てるよう心がけています。

おかげさまで、民間諸団体の防災力も、市民の防災意識も、日々向上しているように思われます。言い古された言葉ですが、「私たちのまちは、私たちが守るのだ」。この気概を忘れず、ともにがんばりましょう。

■ お得な商品券はいかがですか

この度、1万2,000円分の商品が買える商品券が、小野田、山陽の両商工会議所を主体としたプレミアム付商品券事業推進協議会から1万円で売り出されます。2,000円は、国が消費喚起の目的から負担してくれます。本市では、できるだけ多くの店で使えるように、1枚500円ずつ24枚で1セットにしました。

本市の世帯数は約2万8,000世帯。商品券は3万5,000セット販売する予定です。詳細は、この号(差込みページ)でお知らせしています。ぜひご利用ください。



▲防災パトロールの様子(糸根川周防高潮対策事業)